

トピックス

歴史に触れる街 知立

～ デモホン神東・オートメディア・システムズ(株) ～



知立の松並木

当社電着グループ事業所が所在する、愛知県知立市。  
 ここは元来、東海道 39 番目の宿場町、池鯉鮒(ちりふ)宿として繁栄していた。  
 池鯉鮒の由来は、知立神社にある御手洗池に、鯉と鮒がいたことからと言われている。

池鯉鮒宿の名残は今なお、町のあちらこちらに残されており、当時の面影を感じることができる。

旧東海道沿いには、500m に渡り、指定文化財（名勝）の松並木があり、170 本もの松が残っている。 また、この松並木は、江戸時代には側道もあったが、現在では遊歩道として整備されている。 松並木を抜けると、代々、松の木が植えられたという来迎寺の一里塚（大きき直径 11m、高さ 3m）が完全なる形で残されているのを目の当たりにすることができる。

また、来迎寺の少し先には、無量寿寺があり、ここの庭園には、知立市の花でもあるかきつばたが、約三万本植えられている。平安の歌人 在原業平ゆかりの地であり、4月末～5月末にかけては、かきつばた祭りが行われ、たいへんな賑わいをみせている。

このように、知立市では、現代にしながら、旧東海道の歴史に触れることができる景観が残されている。

当社としても、この松並木と同じように、この地にしっかりと根付き、これからの歴史を刻んでいける存在でありたい。



池鯉鮒 石碑